

情報公開文書

作成日 2025 年 5 月 15 日

Ver.1

1. 研究の名称
フローサイトメトリー (FCM) を用いた DNA aneuploidy (DA) 測定の有用性について
2. 倫理審査と許可
京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名
京都大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 橋本誠司
4. 研究の目的・意義
本研究の目的は FCM を用いた DA 測定の有用性を調べることです。
本研究の社会的意義は FCM を用いた DA 有無の結果により、診断や予後予測がより迅速にできる可能性があるということです。
5. 研究実施期間
研究機関の長の実施許可日から 2025 年 12 月 31 日
6. 対象となる試料・情報の取得期間
 - 1) セットアップ
2012 年 1 月 4 日から 2022 年 12 月 28 日の間に、京都大学医学部附属病院検査部細胞分析検査室において、検査を行った患者さん
 - 2) 適格基準
4.1) のセットアップ対象者のうち 4.2) の適格基準の選択基準をすべて満たし、かつ除外基準のいずれにも該当しない患者を対象とします。
 - ・ 選択基準
 - (1) 当院の細胞分析検査室において異常所見が示された患者さん
 - (2) 初発の患者さん
 - ・ 除外基準
 - (1) 当院の細胞分析検査室において異常所見が認められなかった患者さん
 - (2) 再発患者さん
7. 試料・情報の利用目的・利用方法
過去に測定した情報をもとに個人を特定できる情報を削除したうえで、DA 有無と予後予測の関係性などを解析します。
8. 利用または提供する試料・情報の項目
DA の有無、DA 本数、DA 検出方法、検体種、CV 値、予後
9. 利用または提供を開始する予定日
研究機関の長の実施許可日以降
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名
該当なし
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称

京都大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 橋本誠司

12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法
ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、下記連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。
13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法
他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反
研究資金：寄付金・研究助成金等（検査部奨学金）
利益相反：京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
15. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法
 - 1) 研究課題ごとの相談窓口
京都大学医学部附属病院 検査部細胞分析検査室 福岡(旧姓：岸田)鈴乃
(Tel) 075-751-3599 (E-mail) kishirino@kuhp.kyoto-u.ac.jp
 - 2) 京都大学の苦情等の相談窓口
京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口
(Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp